



(様式第1号)

平成28年5月25日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領域名：④福祉用具と住環境に関する領域

科目名：④福祉用具と住環境

単位数：2 単位

認証申請する研修の名称：認定介護福祉士養成研修

団体名：公益社団法人長野県介護福祉士会

団体事務所の所在地：〒380-0928

長野県長野市若里7-1-7

電話：026-223-6670

FAX：026-223-6679

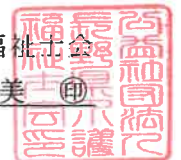
E-mail：sakai@kaigo-nagano.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者：(公社)長野県介護福祉士会

会長 畠山仁美 (印)

申請責任者：酒井 良育



記

○認定介護福祉士認定研修認証申請書(別紙1~3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	福祉用具と住環境に関する領域	
科目名	福祉用具と住環境	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具に関する知識を習得して支援に活用することができるようにする 住環境の知識を習得して家族や利用者に改修に関する提案ができるようにする 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具に関する基礎的な知識を習得し、支援に活用できる 介護場面に応じて、福祉用具等を選択し、それらを活用した支援技術を習得し、実践できる 住環境に関する基本的な知識を習得し、支援に活用できる 在宅や施設を問わず、利用者の生活の場となる住環境を評価し、介護場面に応じて改善を提案することができる 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○介護場面（移動・移乗、睡眠、起居、排せつ、入浴、食事、コミュニケーション等）に応じた適切な福祉用具の選定や住環境の整備 ○福祉用具・生活支援機器・義肢装具・自助具などの種類と機能 ○利用者の障害の程度による機器の選定方法と、福祉用具を活用する際のリスクの理解 ○利用者の住環境の評価 ○利用者が自立生活を送るための障害の状況に応じた住環境の課題と対策 	<p>福祉用具</p> <ol style="list-style-type: none"> 福祉用具総論（定義、分類、種類、使用方法）（2時間） ICFと福祉用具の関係（位置づけ、アセスメント方法）自立支援と介護支援に必要な技術（2時間） 福祉用具とリスクマネジメント（事故・ヒヤリハットの考え方と対応）（2時間） 高齢者の身体機能と福祉用具（1時間） 福祉用具と座位能力（移動用具、シーティングの対応）体験実習（2時間） 身体拘束禁止規定と福祉用具（2時間） 腰痛予防と移乗用具（腰痛予防指針と移乗用具の対応）体験実習（2時間） 福祉用具活用のケーススタディグループ・ディスカッションより対応方法を共有する（2時間） <p>住環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事前課題（利用者の住環境の評価） 自職場の利用者の生活環境のうち、「良いと思う環境」、「良くないと思う環境」を写真に撮り、「どう良いのか」、「どう良くないのか」についてまとめる。 ○住環境整備に関する概論（2時間）（講義） 超高齢社会における居住環境整備の重要性と課題について全体像を把握する（地域包括ケアと住まい、ケアと連動した住まいなど） ○住環境整備に関する基本技術（4時間）（講義） 住宅改修・改造（手すり、段差、床材、建具、スペースなど）、空間のスケール、家具、温熱環境、色彩・インテリアについて解説する（演習） 住宅内の安全チェックリストを用いて住環境の安全性確保に求められるポイントを確認する ○利用者の住環境の評価（9時間）（講義） 利用者の住環境を多面的に捉える必要性を具体的な事例を紹介しながら解説する（演習）

		<p>事前課題をもとに、住環境の評価を行い、その住環境を改善または維持する計画を立てる</p> <p>○事後課題 事前課題で取り上げた利用者の環境について、その環境を改善または維持する計画を作成する</p>
研修方法	<p>■集合研修 □課題学習</p> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。 評価は担当講師が行う。</p>	
研修時間	30時間（集合研修30時間）	
修了要件	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計30分（遅刻、早退それぞれ15分）を上限として認める。（レポート課題なし）1日のプログラムのうち、始めの30分を超える遅刻、終わりの30分を超える早退であって120分以内である場合、レポート課題による代替を可能とする。120分を超える遅刻、早退の場合は、ビデオ学習による補講を行ったうえでレポート課題を提出するものとする。</p> <p>○修了評価として行う筆記試験（50問程度）において、A～C評価（100点満点中60点以上）であること。D評価（59点以下）の場合は、再試験を行い、A～C評価とならなければならない。なお、再試験は複数回の受験を可能とする。</p>	
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 ・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 	
(2)受講者について		
受講対象（受講要件）	単位取得できるのは介護福祉士資格を有するものであること。	
修了評価	筆記試験（50問程度）により行い、100点～80点をA評価、79点～70点をB評価、69点～60点をC評価、59点以下をD評価とする。A～C評価（100点満点中60点以上）で修了とする。	
(3)研修の環境条件		
定員（講師の配置基準）	30名（福祉用具講師1名、住環境講師1名）演習時も同じ講師で行う	
開催場所（都道府県）	JA長野県ビル（長野県長野市）	

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 平成 29 年 5 月
	② 平成 29 年 6 月
	③
開催場所 (会場)	① 長野県長野市 JA 長野県ビル
	② 長野県長野市 JA 長野県ビル
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	<p>担当する講義等 福祉用具 木之瀬隆 氏 日本シーティング・コンサルタント協会理事長・作業療法士 前日本医療科学大学保健医療学部教授 長野県介護福祉士会シーティング研修講師、 主な著書 「日常生活活動・福祉用具総論」 編著、メジカルビュー社、「見直そう、褥瘡ケア」 田中秀子監修、共著、日本看護協会出版会、「車いす・シーティングの理論と実践」 澤村誠志、伊藤利之監修、日本車椅子シーティング協会編集、はる書房、「高齢者のシーティング 第 2 版」 共著、三輪書店、「日常生活活動学 (ADL) コールト・マスター・テキスト」 編・著、メジカルビュー社</p>
	<p>担当する講義等 住環境 大島千帆 氏 埼玉県立大学社会福祉子ども学科准教授 日本社会事業大学専門職大学院非常勤講師、日本個室ユニット型施設推進協議会ユニットケア研修講師、所沢市高齢者福祉計画推進会議委員、白十字会白十字あきつの里運営推進会議委員、東京都認知症高齢者グループホーム整備事業審査委員会委員、 主な著書 「平成 25～平成 26 年度 日本社会事業大学社会事業研究所 共同研究 (特定研究) 中間報告書『介護福祉学の構築に関する研究』」 共著、日本社会事業大学社会事業研究所</p>
	<p>担当する講義等 修了評価 福祉用具 木之瀬隆 氏 (日本シーティング・コンサルタント協会理事長)</p>

	履歴等は同上 担当する講義等 住環境 大島千帆 氏（埼玉県立大学社会福祉子ども学科准教授） 履歴等は同上
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 （担当部局・人員）	研修委員会（非常勤：17名） 事務局（担当事務局員、常勤：4名） 研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連関や留意点について共有する。また、できる限り研修委員会の委員が研修を見学し、研修内容を評価するとともに、随時、研修の見直しを図る。
研修の企画運営に関する諸規程	研修委員会設置要綱
研修管理責任者職名	副会長
研修管理責任者氏名	原千香子
機構問合先部署	長野県介護福祉士会事務局
機構問合先担当者氏名	酒井良育
機構問合先電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
機構問合先 e-mail アドレス	sakai@kaigo-nagano.jp
受講問合先部署	長野県介護福祉士会事務局
受講問合先担当者氏名	酒井良育
受講問合先電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
受講問合先 e-mail アドレス	sakai@kaigo-nagano.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	長野県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○外付けディスクにバックアップデータを保管する。 ○データ保存期間は10年間とし、その後は外付けディスクにてデータを保管する。 ○個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	全課程を修了した者には、会長名による修了証書を発行する。
管理責任者氏名	土屋一都（事務局長）
管理担当者氏名	酒井良育（担当の常勤職員）